

- 02 年頭のごあいさつ
- 04 12月定例市議会  
市政重要事項報告
- 06 特集  
あなたのまちの  
地域包括支援センター
- 12 子ども発達センターと中央公民館  
がサンクルに完全移転など
- 13 イベント情報  
させば食育フェア、アルカス“キ  
ラッ都”させばコンサートなど
- 14 施設だより  
九十九島動植物園、少年科学館、  
九十九島パールシーリゾート、  
市立図書館
- 16 シリーズ「私の3しい」  
ハウステンボス
- 18 市政通信  
市立総合病院職員採用試験など
- 20 お便り・広報クイズ  
広報クイズ お酒2本セットをプレ  
ゼント!
- 21 させば日和「紅葉のモバイル」  
ひじきと豆腐たっぷりすりみ焼き
- 22 暮らしの情報
- 26 健康と福祉
- 30 シリーズ九十九島、徳育通信、  
キラッ都させば など
- 32 九十九島かき食うカキ祭り

【今月号の表紙】

新年号を飾るかわ  
いいひつじの親子  
を描いてくれたのは、  
市内在住で絵本作家  
のにしむらかえさん。  
市内で子ども向け  
の教室なども開い  
ています。詳しくはブログをご覧にな  
るか、お尋ねください。



<http://kaenishimura.blogspot.jp/>  
☎090-1294-8937



今回、答申された平戸八景の

1 潜龍水 2 大悲観 3 福石山



「平戸領地方八奇勝(平戸八景)」の国重要文化財指定に係る文化審議会の答申  
11月21日、国の文化審議会は、「平戸領地方八奇勝(平戸八景)の一部を、国の重要文化財記念物(名勝)に新たに指定するよう下村博文文科科学大臣に答申しました。」

平戸八景とは、旧平戸藩内に点在し、現在では全て本市に所在する8カ所の奇岩などからなる名勝地です。文化審議会では、平戸往還に点在する8つの風景地は、書画を通じて一体の風致景観として確立し、多くの旅行者や行楽・参詣の人々が訪れる名所へと発展した。これらは地域に固有の地形・植生からなる優秀な風景地であるとして、観賞上や学術上の価値を高く評価され、8カ所の名勝地のうち、今回手続きが整った「潜龍水」「大悲観」「福石山」の3カ所について答申されました。

今回の答申は文化庁や文化審議会の皆さまの価値評価に加え、地権者をはじめとした各地元地域の皆さまのご理解とご協力をいただいた結果であり、厚くお礼を申し上げます。文化財指定が正式に決定された折には、我が国の歴史を示す貴重な文化財として適切に保護・保存し、広く皆さまに公開できるように尽力していきます。

石木ダム建設事業の推進

石木ダム建設事業については、11月25日、中村県知事が県議会において、現在手続きを保留している土地・家屋の一部について、裁決申請に向けた手続きを開始する旨を表明されました。知事によりますと、「石木ダムは必要不可欠な事業であり、早期に解決しなければならぬ課題」とした上で、事業の早期着工・早期完成のために事務手続きを開始する必要があるとのこと。

私も常々二度と市民の皆さまに断水の苦しい思いをさせたくない」と申し上げてまいりましたが、昨今の気象状況も鑑みれば、いつ濁水になるとも知れず、事業の緊急性は高まっています。

ることから、手続きを進めてい  
ただきたいと考えております。  
その上で、知事の表明にもあり  
ましたとおり、手続きと並行し  
て、地権者の皆さまと生活再建  
に向けた補償等について話し合  
いができるよう、県とともに事  
業の推進に最善の努力を尽くし  
てまいります。

大野中学校PTAと鹿町小放課後子ども教室の文部科学大臣表彰

11月19日、佐世保市立大野中学校PTAが、平成26年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞されました。

大野中学校PTAは、昭和24年の設立以来、学校や地域との連携を図りながら長年にわたり教育環境の充実・改善にご尽力いただいております。今回の受賞は、同PTAが、学校の環境整備や行事への協力はもちろん、さまざまな活動を地域と協働して展開され、青少年の健全育成に向けた組織的かつ継続的な仕組みづくりを進められることで、家

庭の教育力向上をはじめとした  
多様な教育課題の解決に大きな  
成果を挙げられたことが評価さ  
れたものです。  
また、12月8日には、地域の  
方々による学校や子どもたちへ  
の支援活動を賞する平成26年度  
優れた「地域による学校支援活  
動」推進にかかる文部科学大臣  
表彰が、鹿町小放課後子ども教  
室に贈られることとなりました。  
この表彰は平成23年度から行わ  
れており、本市は4年連続の受  
賞となります。

鹿町小放課後子ども教室は、  
平成22年の設立以来、鹿町小学  
校区の子どもたちに安全で安心  
な放課後の居場所と、多様な体  
験や交流を中心とする学習機会  
を提供されており、今回の受賞  
は、同教室が校区内の保護者や  
学校関係者、数多くの地域住民  
や団体の皆さまと連携しながら、  
校区を挙げて子どもたちの豊か  
な成長を育む仕組みを構築され、  
一年を通じた学習テーマを設定  
して継続的に活動することで、  
子どもたちの習熟度を高め、学

校教育や地域が抱える課題の解  
決に取り組まれたことが評価さ  
れたものです。

この一連の受賞は、本市が重  
点的に取り組んでいる学社融合  
が、全国的に見ても先進的かつ  
継続的な取り組みとして評価さ  
れたものであり、関係者の皆さ  
まのご努力に対し、改めて感謝  
の意を表する次第です。

本市では今後とも、学校・家  
庭・地域が一体となって、子ど  
もたちの豊かな成長を育むこと  
ができる環境づくりに一層努め  
ていきます。

「長崎がんばらば国体」 「長崎がんばらば大会」の終了

第69回国民体育大会「長崎が  
んばらば国体」と第14回全国  
障害者スポーツ大会「長崎が

ばらば大会」においては、本市  
在住・出身等の選手が素晴らし  
い成績を収められました。

その主なものについて、空手  
道競技の成年女子組手個人にお  
いて東世菜選手(仙台育英高教  
諭)、少年男子形個人において  
藤田開土選手(佐世保北高2年)  
が見事優勝され、同じく組手団  
体において、遠山将平選手(日本  
空手松涛連盟)、島尻聖拳選手(佐  
世保北高3年)、東世菜選手が長  
崎県チームの一員として活躍し、  
見事優勝されました。

また、アーチェリー競技の成  
年女子団体において、早川連選  
手(長崎国際大職員・卓スポーツ  
専門員)、川淵真弓選手(近畿大  
4年)、永峰沙織選手(長崎国際  
大3年)の3名による長崎県チ  
ームが見事優勝されました。

さらに、バレーボール競技の  
成年男子において、永野健選手  
(パナソニックパナサーズ)、吉  
村康佑選手(同)、山口頌平選手  
(早稲田大2年)、山下直樹選手  
(名城大2年)が長崎県チームの  
一員として活躍し、見事優勝さ  
れました。

このほかにも数多くの選手が  
入賞されましたが、これらは長  
崎県勢の活躍に勢いをつけるこ  
とにも、今回の「天皇杯」獲得  
に大いに貢献されたものであり、  
市長として大変誇りに思います。  
入賞された皆さまに心から敬意  
を表しますとともに、長期間に  
わたりご尽力いただいた関係者  
の皆さまに、心からおねぎらい  
を申し上げます。

12月1日(月)、朝長市長が12月定例市議会で報告した「市政の重要事項」を抜粋・要約して  
お知らせします。提案した議案等の概要は次号でお知らせする予定です。